



今、ここ

めがす子どもの姿 ~ やさしく かしこく たくましく ~
「合言葉」 わたしが主人公 一人ひとりが主人公

令和3年7月20 第5号
銭座小学校 校長 丸山朋子

1学期の終業式を迎えました。

7月20日(火)、1学期の終業式を迎えました。先週、13日には、「梅雨明けしたと見られる」とのニュースも届きました。子どもたちは、暑さと共存しながら学校生活をおくることができました。

保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力のおかげです。心から感謝申し上げます。

さて、本日、子どもたちに、各担任から通知表「のびゆく子」が手渡されました。

子どもたちの頑張り、成果や課題などを、ご家庭でも話題にさせていただき、是非、今後につながる励ましをお願いします。

夏休みも、子どもたち一人一人が、自分の体と心の健康を進んで守り、有意義な時間を過ごしてくれることを願っています。



「7生活目標 後片付けをしよう」

銭座小、7月の生活目標は「後片付けをしよう」でした。

今月、子どもたちへのお話を担当した2年生担任の田崎先生から「次に使う人のことを考える思いやりの心で片づけ名人を目指しましょう。」と呼びかけがありました。

自分の机の中の整理、ものの持ち帰り、図書館の本の返却など、学期末に向けて、物の片づけ・整理もしました。

自分が使っていないトイレのスリッパを並べる姿もありました。ご家庭での、玄関やトイレのスリッパ並べとつながって、定着していくとうれしいです。



「各学年の生活目標」(掲示)



「かたつむりレース」(掲示)

7月14日、「第1回学校保健委員会」「第1回地区別懇談会」を実施しました。

図書館で学校保健委員会を行いました。

育友会から、各学年の代表の保護者の皆様も、ご参加くださいました。ご多用のところありがとうございます。

会の内容を、養護教諭の坂本先生が「保健室だより」でお知らせしています。ぜひご覧ください。

さて、委員会の中で、子どもたちがゲームに費やす時間や睡眠時間について、昨年度、子どもたちに調査した結果が示されました。

7月の全校集会でも、睡眠について話をしました。「わかっているけど・・・」というテーマとは思いますが、夏休みに向けて、ご家庭でも話題にしていればと思います。



同日、18時30分から、地区別懇談会を行いました。

三密回避のため体育館で実施。暑い中に、55名の皆様にご参加いただき、子どもたちの様子なども情報共有をしていただきました。

あいさつや、登下校の姿など、子どもたちの良い面も教えていただき、ありがたかったです。

話し合っていたいただいたことの概要を、裏面にまとめております。ご覧いただければと思います。

主人公たちの姿

「働く子どもたち」

机・いす、棚・ロッカー、図書、学校行事で使用するもの等々、学校には様々な道具があります。そして、時間の経過と共に使えなくなる物が増え、時々点検・整理する必要があります。

こんな時、どの学校でも頼りになるのは子どもたちの力ですが、銭座小の子どもたちの「働き」はあっぱれです。

「これも、持って行っていいですか」

「このダンボール、まとめますよ」

あれよあれよという間に、片付いていくのです。

「さすが!」の6年生に続けとばかりに、スピーディーに作業する5年生の動きにも「やるなあ」と感心させられました。4年生・3年生の姿にも頼もしさを感じました。「もうありませんか」とうれしい催促を受けたほどです。

過ごしやすく活動しやすい環境づくりに、積極的に参加する子どもたちでした。ありがとう!

図書館大盛況

図書委員会の子どもの提案で「図書室を訪れるごとにカードに描かれたカタツムリの殻(1マス)に色を塗る」という「かたつむりレース」にチャレンジ。「1・3・5の奇数学年」VS「2・4・6の偶数学年」で静かなる決戦が行われました。

結果は、「奇数学年39匹、偶数学年34匹」で奇数学年の勝利。

さらに、昨年6月に比べ、全校の貸出冊数合計が640冊も増加。カード作りなどの準備、放送での呼びかけ、昼休みの活動等、委員会のメンバーの地道な取組が実を結びました。

1「令和3年度非行防止パレード」

パレードの代替として、子どもたちに「非行防止ポスター」の作成に取り組ませます。

詳しくは、銭座小学校区子どもを守るネットワーク、育友会、学校の連名で配布しましたお便りをご覧ください。

2「夏休みの過ごし方」 詳しくは、別途配布しています。

特に「保護者同伴」の捉え方は「声の届く範囲」と確認しました。

「子どもの安全の保持」と「とっさの場合の迅速な対応」ができるようにとの考え方からです。

水泳・水遊びや花火等も含め、夏ならではの体験が有意義なものとなるよう、どうぞよろしくお願ひします。

3「各地区での話合い」の報告

【天神・浜平】

- ・子どもたちが狭い路地に入り込んで遊んでいる様子がある。
- ・車の往来が多いので、車が注視できる表示等の設置を希望する。

【緑・目覚・川口・坂本】

- ・緑町の子どもたちは運動場で、目覚町の子どもたちは公園で、遊んでいる様子が見られる。
- ・たばこの吸い殻が落ちていることが多い。大人のマナーに課題がある。

【上銭座・銭座】

- ・スピードを出す車の往来が多く、バス道路の歩行通用に注意が必要である。
- ・斜面になっている道が多く、雨天時は滑りやすく注意が必要。
- ・空家が多く、草木が茂って庭からせり出し、視界不良になってきているところもある。

【宝・森・幸】

- ・子どもたちは7時40分から8時の集中登校ができています。
- ・子どもたちは、とてもよくあいさつをしている。
- ・サッカースタジアム建設に伴って、ダンプカーの往来がある。現在、出入口が茂里町に移っている。
- ・幸町のレンタカー前を通過してショートカットする車両や、一方通行区間に自転車通用する人が多くあり、子どもたちに危険がないか心配である。

4 保護士会（小森保護司）から活動内容の説明

5 民生児童委員会（山田民生児童委員）から活動内容説明

6 ラジオ体操（7/21～8/31）について（堀田自治会長ほか）

7 あいさつ

子どもを守るネットワーク加藤会長から



これからも、安全に登校しましょう。

子どもの成長に「睡眠」はとても大切です。
良い習慣は一生、生きて働く 宝物のようなものです。
時機を逃さず、よい習慣づくりにかかわっていきましょう。



◎ 睡眠は脳を成長させる。

◎ 睡眠中に「成長ホルモン」が分泌されて、体を成長させ、健康にする。

- ①手先を使った作業や、学習で刺激を受けた脳の神経細胞が、寝ている間につながり合って能力が向上する。
- ②記憶が定着する。学習したことが寝ている間に「短期記憶」から「長期記憶」に変化する。これは、スポーツでも同じ。練習したことは、睡眠中に 運動記憶として定着する。

- ①全身の細胞が成長する。
「寝る子は育つ」って本当なのですね。
- ②傷んだところを直して元通りにする。
風邪や感染症にかかりにくい体をつくるためにも睡眠は欠かせない。
睡眠が十分でない、疲労が蓄積して、運動パフォーマンスも低下する。

他にも、

- ・睡眠を十分とった選手の方がバスケのシュートやテニスのサーブの正確性が高まった。
 - ・6時間睡眠の中高生は、8時間睡眠の中高生より部活動中のけがのリスクが4倍高かった。
 - ・睡眠不足になると、イライラしたり、注意力が低下してしまったりする。
- 等の様々な調査結果があり、世界のトップアスリートたちも睡眠をととても大切にしています。

「良い睡眠のために」

- ◎ 寝る前に、パソコンやスマホ等の光を浴びると、脳が目覚めてしまって眠りにくくなるから要注意です。休み明けに「起きるつらさ」を軽減するには、夏休みであっても、朝寝坊せず、同じ時刻に起きて光を浴びること。4か月間かけて作った生活リズムを保つことが大切なのです。